

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期や重度期の対応について、手違いやトラブルでの訴訟問題などリスクに備えた準備はまだできていない。職員や家族の調整する所や技術に関しては研修の環境さえ整えば出来そうに思えるが、施設を巻き込みかねない状態に関して責任の取れる調整が必要に思える。	当事者が高齢になり、人生の完成に近づくが、その在り方や意義に迷う人も多く、そして、そのケアに当たる人々も、迷いはあるので、そこに良い線引きのできる考え方を、適切な人に研修を実施して、それがすべてではないが、そこから各自の死生観からの、穏やかで温かい対応ができるとうい。	終末期の対応の情報を集め、医学・看護・介護からと、全人的な正しい死生観を持った哲学などを踏まえて、対応する職員から、利用者様や家族にまで理解が伴い、だれもが不幸にならないターミナルケアを工夫、計画していきたいと思います。	12ヶ月
2	35	夜間火災避難訓練は未実施、水害避難訓練計画は作成したが、未実施である。さらにミサイルや台風や地震の災害対策訓練が必要に思えるが、タイミングや規模を工夫して実施したい。	昼間に、できるだけ、地域の参加を促して、年に2回の火災訓練だけでなく、夜間や洪水時の訓練等を、怪我無く、混乱なく、実施して、利用者様や地域の方の安全を協力して守り、生き残り、幸せに暮らせるように心がけたい。	計画を独自でよい時期に1回は考えて、実施したい。地域や利用者様や参加できる方々に参加いただき、意味のある、生き残ることにたけた訓練をしたい。	12ヶ月
3	45	週に2回から3回の入浴とまた、出来ない時の代替支援をする様になってい。個々の入浴の希望を再度確認してみたり対応についての調整工夫をしたいと思う。	利用者様方の入浴介助について、快適に清潔に、リフレッシュしていただく工夫や技術の訓練も向上をはかりたいが、対応職員の知識や工夫、技術次第では、労務の負荷のかかり方が、違い、それが効率的で快適な業務を妨げるので、対応職員のマネジメントやバランスについても工夫をしてゆきたい。	入浴に関しての情報収集。介護だけでなく、一般的にも積極的に快適になれるような工夫を集めてみる。そして、職員同士で話し合い、利用者様の特質や意見も踏まえて、さらなる仕事としての入浴介助の在り方などを、狭い意味でなく介護する側の労力も考えて対応をしたい。	12ヶ月
4	49 (18)	不穏対応が目立ち、不穏な方が勝手に外へ出られて職員が付き添って対応した事があったが、その日の希望よっての柔軟な対応は難しい。危機管理と対応できる職員と同時に瞬時に行う事は難しいと思うが、近場などは時々散歩したりなどがあったと思う。	定期的な外出を計画し対応を月行事委員会などで対応をしているが、個別に誕生日会を全体で行うより、家族や親しい人との外出や外食、なにか見物に出るなどの少し特別な事を実施したらよいのではないかなと思う。	月の仕事の確認と職員の余裕を考えて、利用者様に喜ばれる外出を考えて対応したい。半年で3名ほどは実施できるようにしたい。	12ヶ月
5	1 (1)	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	新設時からしばらくしてGH特有の介護の要素をまとめ大別して、コンセプトに準じて理念作成をその時の職員と実施した。内容は的確に認知症介護の内容を網羅してバランスを考えていると思う。平成31年1月の施設内研修と強化月間としての全職員による再確認を実施。	施設に理念だけでなく、職場の教育や訓練、モチベーション、そして、自分を磨き大人としての成長に必要な良い言葉を考えて、張り出しているの、その意味を各職員で考えて、理解を示した研修を行いたい。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。